

京都府立医科大学附属病院で頭部MRI・CTを受けられた患者様・ご家族の皆様へ

## 頭部MRI・CTに関する研究へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、脳動脈、頭頸部動脈に関する研究「頭部MR angiography による頸部頸動脈狭窄の予測」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で頭(頸)部MRI/angiographyおよび脳血管撮影を受けられた患者様の診療録と脳血管画像をさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

### 研究の目的

頭部MRIの検査で撮像されるMR angiographyは、頭部MRIと同時に撮像されることが多く、動脈狭窄の診断に有効な検査で、広く普及しています。一方で、頸部頸動脈狭窄は、脳内への血流量の低下や、血栓の遊離による脳梗塞の原因となりえる重要な疾患ですが、症状のない場合もあり、脳梗塞が起きる前に発見することは非常に重要です。このため日常診療で高頻度に撮像される頭部MR angiographyから、頸部頸動脈狭窄の有無を予測する方法を開発します。

### 研究の方法

#### ・対象となる患者様について

平成23年1月1日から平成29年4月30日までの間に、京都府立医科大学附属病院で頭部MR angiographyおよび頭頸部MR angiography または脳血管撮影を受けられた20歳以上の患者様が対象となります。

#### ・方法について

頭頸部MR angiographyまたは脳血管撮影にて、頸部頸動脈の狭窄の有無を評価します。さらに頭部MR angiographyの中大脳動脈の描出を視覚的に、さらにコンピューターで中大脳動脈の体積を計測することによって、その左右差から頸部頸動脈の狭窄の有無を予測する手法を確立することを目指します。

#### ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究結果が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんご自身もしくは患者さんの代理人

の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、令和2年3月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記期日までにお申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

#### 研究責任者

京都府立医科大学大学院医学研究科放射線診断治療学 講師 赤澤健太郎

#### 連絡先

京都府立医科大学 放射線診断治療学

講師 赤澤健太郎 電話：075-251-5620（放射線科医局）